NISHI

舞鶴の自然を撮るのが趣味♪

製薬メーカー勤務

西原 裕紀さん

◎Ｉターン ◎兵庫県神戸市出身 ◎京都市内から移住

神戸出身の西原さんは、大学時代に知り合った奥さまと結婚し、京都市内から奥さまの実家のある清美が丘に移住。

舞鶴を訪れた際に、舞鶴で獲れた魚を食べて「舞鶴に住めば、いつでも美味しいものが食べられる！」と食に魅了されたこと、赤れんが倉庫群を見て「これがここにある理由を知りたい！」となぜか心惹かれたこと、そして、五老岳から見た自然と溶け込んだ舞鶴の海が素敵で忘れられなかったことが、舞鶴に住みたいと思ったきっかけだった。

舞鶴に住んで11年(取材時)、昔から住んでいたようにすっかり馴染んでいると笑う。近所の方や他の移住者とのつながりは、都会では経験できなかったと思っている。今では、家の近くの畑で近所の方に教わり、じゃがいもやトマト、バジル、玉ねぎなどを栽培。魅了された舞鶴の自然を動画や写真で撮るのが趣味で、市展で入選するほどの腕前の西原さん。これからも舞鶴の魅力を写真で残したり、家族で釣りに行ったりと、舞鶴ぐらしを満喫したいと話してくれた。

HIGASHI

パッケージデザインは小学生の娘さん♪

Metel 珈琲

木下 恵さん

◎Ｉターン ◎京丹後市網野町出身 ◎京丹後市網野町から移住

実家からあまり遠くない所で住む所を探していました。舞鶴は何故か前から気になる街だったので、「舞鶴に行けば何かできる」と思い移住。

その後、結婚・出産を経験。子育てに忙しい日々だったが、昔からの夢であったカフェを実現するためにコーヒーの勉強を始め、2010年にMetel珈琲をオープン。「子育てに影響のないよう無理をせず今できることをしたい」と思い始めたカフェも今では子どもたちがコーヒーの包装紙に絵を描いたり手伝ってくれている。

お店に来てくださっている、子育てしながら何かをしている方達と話が盛り上がり、子どもも自分たちも楽しむイベント『まんま・みーあ』を立ち上げた。今度は、子どもが大きくなってきたからこそ出来る新たなイベントを企画中。舞鶴での生活を楽しむのは自分たち次第、これからも無理をせずプラス１か２を楽しみますと笑顔で語った。

KASA

都市で生活するより不便は感じません！

林業・狩猟

清水 祐輔さん・雅さん・喜一郎くん

◎Ｉターン ◎滋賀県栗東市出身 ◎京都府綾部市から移住

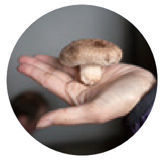
綾部市にある林業大学校を経て、2017年6月に舞鶴の西方寺へ移住。いくつか候補地を巡ったのち移住先を舞鶴に決めたのは、地域に喜一郎くんと同世代の子どもが多かったことと、家の感じが思い描いていたものに近かったため。

現在は、林業の会社に勤めているが、将来は林業や狩猟を中心とした体験型の宿を営みたい。山遊びや山暮らしの体験（山仕事、狩猟採集、保存食作り、クラフトなど）や季節折々の恵みを活かしたごはんを提供したいという。

漁労や採集活動と並んで、人間社会の最初期から存在する生業とされている狩猟は、現在も様々な可能性を秘めている。やりたいことが出来る自然の恵みと、自由になるスペースがあり、都市で生活するより不便は感じないという清水さん。

OURA

舞鶴は椎茸栽培に最適♪



椎茸栽培

乾 郁朗さん・富美さん

◎Ｉターン ◎京都府相楽郡南山城村出身 ◎京都府相楽郡南山城村から移住

京都府唯一の村である南山城村から移住した乾さんご夫婦。自営で行っていた農業を娘さん夫婦に任せ、第二の人生をおくる場所を探していたところ、知り合いを訪ねた際に目にした、海辺にひらけた田園風景と、舞鶴湾の入口から眺める日本海の美しさに魅せられこの地への移住を決意。小さな入海を抱いた波静かな風景には、貨物船や海上自衛隊の艦船も姿を現す。時折通る豪華客船もまた画になる。新鮮な魚介類と自宅から眺める夕日は晩酌の肴に最高だという。日本海の雪景色も然り。

現在は、知り合いのお店で働きながら、前職で培った椎茸栽培の知識を舞鶴に広めたいと活動中。雨の量も含め椎茸栽培には適した気候。素直な気持ちでご夫婦を迎えてくれた村の方への恩返しの一端にと、そしてこの地で生きた証にしたいと郁朗さんは穏やかに笑う。

舞鶴市で 暮らす Live

MY LIFE暮らしの組み合わせが 自由自在な舞鶴に住みたい!!

1. お試し住宅第１号 2. 完成したお試し住宅第２号で舞鶴高専と地域住民の皆さん

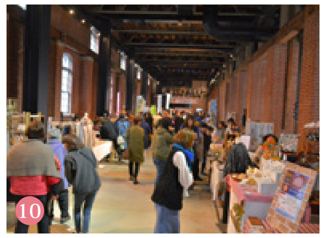
空き家を活用 お試し住宅で舞鶴ライフ

市では、市内の空き家を活用し、本市へ移住を考えている人に住宅を提供する「居住促進住宅（お試し住宅）事業」に取り組んでいます。第１号は東市街地の浜地区にある昭和初期に建てられた旧海軍ゆかりの空き家を市へ提供いただき、居住促進住宅として改修。第２号は森本町に整備し、第３号は伊佐津に整備中です。工事の設計や測量は舞鶴高専の学生が行い、ワークショップなどを行いながら整備していきます。

空き家の活用と併せて本市の新たな移住モデルとして引き続き進めていきます。

CITY

歴史ある舞鶴の 街を愉しむ



5. みなと舞鶴ちゃったまつりのラストは、大人も子どもも大好きな花火で締めくくり。6. 田辺城まつりには、市内の幼児たちも参加して練習の成果を発揮します。7. クイーン舞鶴も民踊ながしに参加。8. 港街ならではの魚まつりでは、市民参加のせりも行われます。9. 肉じゃが発祥の地として知られる舞鶴では、様々なイベントで肉じゃがが振る舞われます。10. 毎回にぎわう赤れんがバザール。

自然に癒され
街で憩う穏やかで
心豊かな暮らし

山々に囲まれた美しい舞鶴湾
海岸に立つと風に吹かれ
清涼感溢れる空気に包まれます。
若狭富士と称された青葉山の麓には
穏やかに広がる田園風景
カエルを追いかける子どもたちの表情
この地で生きる喜びを感じます。
先人たちが生き抜いた歴史の遺産 赤れんが
時を越え人々が集い出会いと
想像を楽しむ憩いの場所です。
私たちの街には、美しい自然と
暮らしのある風景が
いつも隣り合わせにあるのです。

舞鶴ならではの
歴史ある
イベントじゃ！

舞鶴市で

愉しむ

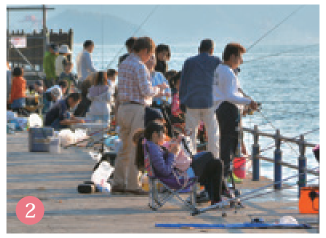
Enjoyment

心豊かなひとときを
支える環境づくり

NATURE

舞鶴の豊かな四季の 自然を愉しむ

外遊び
大好き!!



1. 与保呂川沿い桜並木、たっぷり春を感じる散歩道。2. 休日には家族で魚釣りが気軽に楽しめる。3. 秋には親子で紅葉狩り。4. 雪が降った日には、大はしゃぎで雪合戦。

舞鶴市で

育む①

Bring Up

地域で子育てを全面サポート

1

豊かな育ちと成長が実現できるまちづくり

子どもを安心して産むことができ、子ども一人ひとりが尊重され、豊かな育ちと成長が実現できるまちづくりを進めています。

そのためには「子育て環境の充実」が重要と考え、家庭や地域、関係機関と連携して、妊娠から出産、子育て、さらには18歳までの切れ目のない支援に取り組んでいます。

親子連れでにぎわう子育て交流施設「あそびあむ」では、五感を使った豊かな遊びを通して子ども達の「学び・育ち・交流」につなげる工夫を行い、子どもだけではなく多世代交流や子育て相談ができる施設として親しまれ、親子の笑い声が絶えません。

また、「子どもなんでも相談窓口」では、妊娠期から子育て期、18歳までの子どもに関わる相談をワンストップで受け付けています。子育ての悩みから児童虐待の発生予防、自立支援までさまざまな子どもに関する悩みを、子どもも総合相談センター、子育て支援基幹センター、保健センターの3つのセンターが一つのチームとなり対応します。

保育所や幼稚園、認定こども園は、質の高い乳幼児教育を提供するとともに、保育所などへ送迎を行う「ファミリー・サポート・センター」や保護者の疾病時や出張時の際の子どもの養育を支援する「ショートステイ」、就学児童を対象とした「放課後児童クラブ」などの子育て支援サービスを充実させ、育児と仕事を両立させるなど、保護者をサポートしているほか、地域子育て支援協議会など、地域ぐるみで関わりを持ちながら、子育て世代を支えています。

さらに、障がいのある子ども一人ひとりが自己の能力を最大限に発揮できるよう、幼児期における児童発達支援事業や学齢期における放課後デイサービスなど、子どものライフステージや障がいの程度に応じた児童福祉サービスの充実に努めています。

PLAY

4

2

5

3

1. 東地区にある子育て交流施設「あそびあむ」。全天候型で雨が降っても安心です。 2. あそびあむでは、0 歳から安心して遊ぶことができます。 3. つくってあそぶコーナーも充実。
4. 東地区にある「青葉山ろく公園」。アスレチックやキャンプ場などの屋外型施設。 5.「伊佐津川運動公園」の人工芝グランド。この日はプロ選手を招待してのサッカー教室で子どもたちも大喜び！

さまざまな可能性を持つ子どもたちを地域社会で見守り、
誰もが安心して子育てできる環境づくりをめざします。

SUPPORT

8

7

6

10

9

6. 子育てひろばは、親同士で交流したり、子育ての悩み、不安の相談、情報交換などができる場です。 7 ～ 8. 放課後児童クラブで地域の支援者から空き箱などを利用し工夫をして遊ぶことなどを学びます。温かい見守りでご両親も安心して働くことができますね。 9. 交通量が多い交差点などでは、地域のスクールガードが見守ります。 10.「子どもなんでも相談窓口」では、妊娠期から 18 歳までの子育てについて気軽に相談が可能です。

舞鶴市で

育む②

Bring Up

0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実を目指して

1.「あそびあむ」では、子どもと保護者が触れ合うイベントを開催。 2. 幼児教育・保育の質の向上研修。 3. 教育・保育などの内容の向上を目的とした公開保育。

保育者・教員が共に学び合い、教育の質の向上に努めています。

発達段階に応じた豊かな遊びや生活・体験!!

主体性を育む乳幼児教育の推進

0歳から就学前の乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要な時期です。本市では、発達段階に応じた豊かな遊びや生活・体験の中で、主体的に取り組む子ども、自分も友達も大切にする子どもなど、乳幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿や、乳幼児期に大切にしたいことなどを明記した「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」に基づいた保育実践を推進しています。

乳幼児教育に当たっては、公開保育を中心とした研修体制のもとで、公立や私立、保育所や幼稚園、小学校といった園・校種の枠を越えて、保育者・教員が共に学び合い、乳幼児教育の質の向上に努めています。

また、0歳から15歳までを切れ目なくつなげるため策定した「保幼小中接続カリキュラム〜まいづるカリキュラム015」を活用し、5歳児と1年生の連携活動を通じた保育者・教員の相互理解を深める研修等を実施しています。

認定こども園

本市の乳幼児教育の推進拠点となる乳幼児教育センターを開設(平成31年4月)。本センターでは、乳幼児教育の質の向上研修や保育所・幼稚園・認定こども園等への巡回など、発達支援に関する事業の実施・研究に取り組むとともに、乳幼児教育や発達支援について子育て家庭だけでなく市民へ情報発信をしています。

知・徳・体のバランスのとれた“生きる力”を身に付けるための教育を進めています。

4. 小中一貫教育。中学校教師が小学校で音楽を教える風景。 5. 小中学校交流会。小学6年生が中学校で授業を受ける風景。 6. 市長自らが教壇に立つ「市長のふるさと舞鶴講義」。
7. ふるさと舞鶴の将来像を考える「市長と中学生のふるさと舞鶴ミーティング」

〝郷土愛〟と〝生きる力〟を育む教育の充実

就学期においては、「小中一貫教育」を進めています。小・中学校をそのまま存続させながら、中学校区単位で取り組む「施設分離型」のため、各小・中学校は、長年培ってきた各学校の地域性や伝統を大切にしながら、それぞれの学校が特長を活かした教育に取り組んでいます。小中一貫教育を通して、児童生徒同士、教職員同士が交流・連携し、互いに学び合いながら、義務教育9年間を修了するのにふさわしい学力の定着を目指しています。

併せて、「ふるさと学習」にも力を入れています。舞鶴市の人、産業、自然、文化、歴史を探究することを通して、ふるさと舞鶴への誇りと愛着を育むと同時に、自分の将来や進路について考える機会としています。

この他にも、児童生徒が早い段階から夢や目標を持ち、それに向かって進むきっかけ作りとして、活躍している人から話を聞く「夢講演会」や、市長が市内の全中学2年生に舞鶴のさまざまな魅力や志を持つことの大切さを話す「市長のふるさと舞鶴講義」を開催しています。

これらの取り組みを保護者や地域の皆さんと共有しながら、学校と一緒になって地域ぐるみで子ども達を育んでいく教育環境づくりを進めていくことで、「知・徳・体」のバランスのとれた“生きる力”を備えた子どもの育成を目指しています。

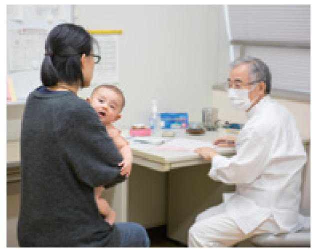
舞鶴市で 健やかに
Healty

心身ともに健やかな暮らしを創造する 安心して暮らせるまちづくり

CHILD

子どもが健やかに成長、発達するための妊娠期からの切れ目ないサポート

子どもむし歯予防教室



乳幼児健康診査

育児準備教室

子ども世代の健康づくり

乳幼児期は、心身の健全な成長、発達に重要な時期であるとともに、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる大切な時期です。乳幼児健康診査や子育てに関する教室など重層的な取り組みにより、疾病の早期発見だけではなく、心身の健やかな成長、発達に対する支援や、食事、睡眠、むし歯予防などに関して健康的な生活習慣の確立に向けた支援に取り組んでいます。

予防接種を受けて大切な子ども達を感染症から守りましょう！

予防接種冊子

ADULT

誰もが健康で生きがいを感じ、安心して豊かに暮らせるまちづくり

サロン DE ストレッチ

赤れんがハーフマラソン

歩王（ウオーキング）

親子で楽しく健康づくり！

働きざかりから高齢者世代の健康づくり

一人では、なかなか続かない健康づくりも、仲間と一緒に取り組めば、楽しく続けていくことができます。家族や職場の仲間、地域の仲間など身近な人と共に、楽しみながら続けていく健康づくりに取り組んでいます。

市内の医療機関や保健センターで検診が受けられますよ!!

けんしんパスポート

HOSPITAL

舞鶴市の公的 4病院ネットワーク

舞鶴共済病院

一般：300床
■ 循環器センター
■ 救急告示病院、周産期医療二次病院、地域医療支援病院

〒625-8585 京都府舞鶴市字浜1035番地
TEL：0773-62-2510

舞鶴医療センター

一般：289床、精神：120床
■ 脳卒中センター ■ 周産期サブセンター
■ 救急告示病院、京都府がん診療連携病院、地域医療支援病院、京都府認知症疾患医療センター

〒625-8502 京都府舞鶴市字行永 2410 番地
TEL：0773-62-2680

舞鶴市民病院

医療療養型：100床

〒624-0906 京都府舞鶴市字倉谷1350-11
TEL.0773-60-9020

舞鶴赤十字病院

一般：198床
■ リハビリテーションセンター
■ 救急告示病院

〒624-0906 京都府舞鶴市字倉谷427番地
TEL.0773-75-4175

まるで、「ひとつの病院」のように。

舞鶴市には公的病院が4病院あり、それぞれの病院が特徴的な機能を有しています。

舞鶴医療センターは脳卒中センター、周産期サブセンター、舞鶴共済病院は循環器センター、また、舞鶴赤十字病院はリハビリテーションセンターとしての機能が充実し、急性期医療を担っています。

舞鶴市民病院は、医療療養型病院として慢性期医療を担い、この公的4病院が互いに連携することにより、地域の医療が、まるで「ひとつの病院」のように機能しています。

救急医療については、公的3病院（舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院）が、救急告示病院として、平日の夜間や土曜日にも備え、休日には輪番で救急医療を担い、市民の皆さんの安全・安心な医療環境に努めています。

なお、病状が比較的軽い方に対し、応急的な診療を実施する舞鶴市休日急病診療所を毎日曜日に開設しています。

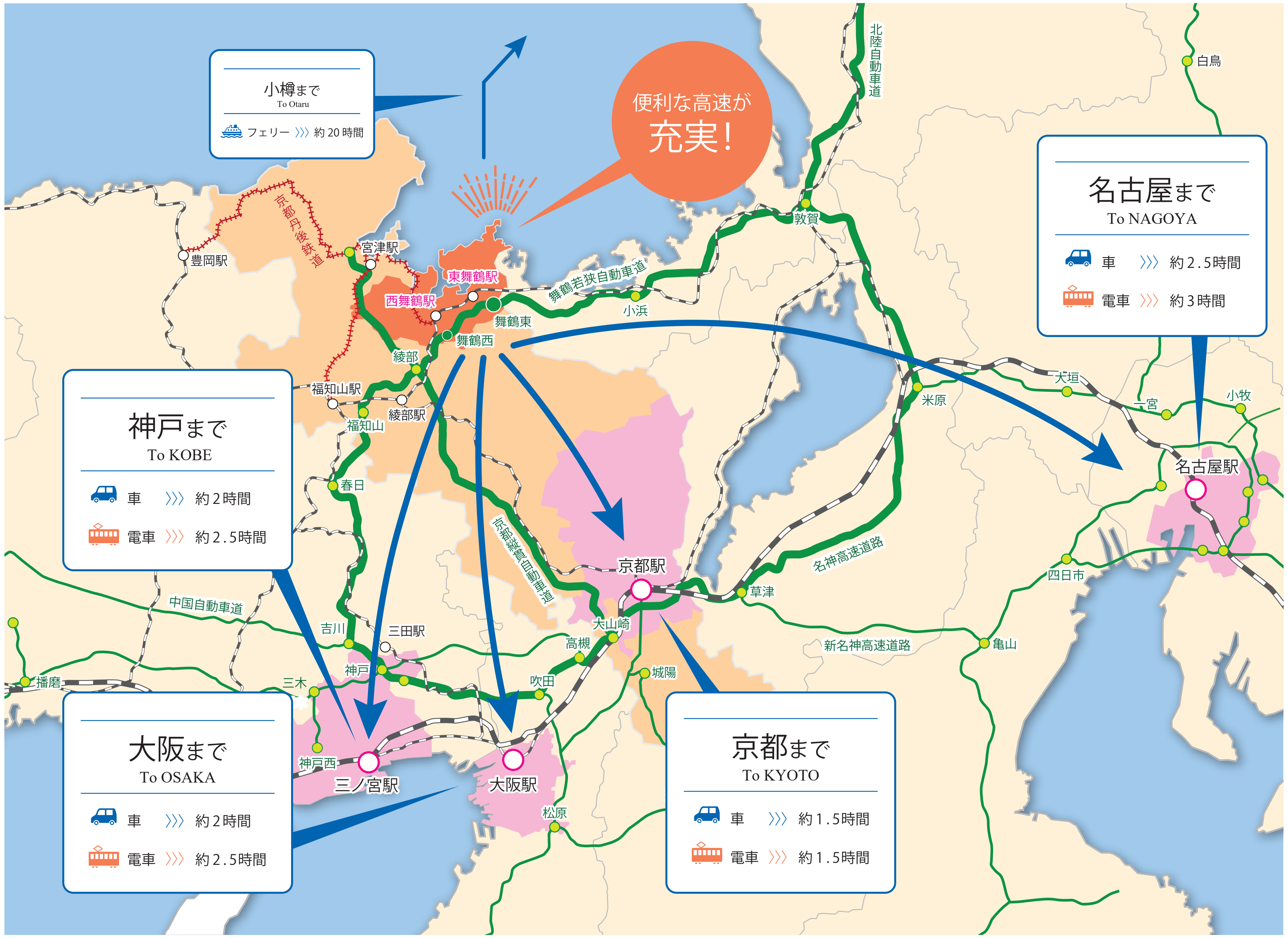
舞鶴市休日急病診療所

開設日時：毎日曜日、診療時間：9時～12時、13時～17時、診療科：内科、開設場所：舞鶴市字行永2260番地2（舞鶴医療センター敷地内）、電話：（0773）63-4970（ヨクナレ！）

舞鶴市の 交通 Traffic

道がつなぐまちの未来

TRAFFIC NETWORK



舞鶴若狭自動車道４車線化事業

国道27号 西舞鶴道路

市道 野原大山線

都市計画道路 和泉通線

平成26年に舞鶴若狭自動車道、平成27年には京都縦貫自動車道が全線開通し、舞鶴市の交通アクセスは飛躍的に便利になりました。舞鶴若狭自動車道、名神高速道路、北陸自動車道とともに北近畿の大環状ネットワークを形成し、京阪神はもとより名古屋方面や北陸方面からの観光客が増えています。また、舞鶴若狭自動車道では、舞鶴西ＩＣから綾部ＩＣ間の４車線化が完了し、令和２年度には福知山ＩＣまでが４車線化されることで、さらに交通アクセスが整います。

現在、整備が進む国道27号西舞鶴道路は、日本海側拠点港である京都舞鶴港と接続する臨港道路上安久線から直接舞鶴若狭自動車道に接続することで、物流機能の向上が図られ、市内の交通混雑の緩和の解消も期待されています。

鉄道においては、ＪＲ小浜線舞鶴線、京都丹後鉄道宮舞線が走る交通の要所となっています。

RAILWAY

京都丹後鉄道

西舞鶴駅からは、工業デザイナーの水戸岡鋭治氏が設計した、観光列車「丹後あかまつ号」「丹後あおまつ号」が走っています。レストラン列車「丹後くろまつ号」では、美しい風景を見ながらの食事が人気です。

海の京都をイメージした藍色メタリックの車両「丹後の海」は、ＪＲ山陰本線の特急として親しまれています。